

放射線治療計画用 CT 撮影における被ばく線量に関する研究について

当院では以下の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の情報が研究目的に使用されることを望まれない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	管電圧調節機能 CARE kV と画像再構成技術 DirectDensity 利用による放射線治療計画用 CT の被ばく線量低減の検討
研究責任者	両角 拓哉（診療放射線科）
研究の目的	Siemens 社製の放射線治療計画用 CT に付随する技術（CARE kV および DirectDensity）を用いて、患者の被ばく線量を低減できるかを検討する目的で行います。
研究の方法	- 両側上肢上胸部および骨盤部 CT を対象とし、技術を使用した撮影法と従来法を比較します。 - CTDIvol（mGy）、DLP（mGy・cm）を算出し、性別および BMI で分類・平均化し解析します。 ※CTDIvol：CT 検査で受ける 1cm 当たりの放射線の吸収線量 DLP：撮影範囲分の放射線の吸収線量 CT 検査における被ばく線量を把握するために使用される指標です。
研究対象期間	2023 年 8 月 ～ 2025 年 3 月
対象となる方	上記期間中に、当院で放射線治療計画用 CT を撮影された方
利用する情報	性別、身長、体重、BMI、撮影部位、CTDIvol、DLP、撮影方法（技術の有無）など匿名化された診療情報を利用します。
個人情報の取り扱い	収集された情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究成果は学会や論文等で発表される可能性があります。個人が特定されることはありません。
他機関への提供	他の研究機関に情報を提供することはありません。
研究資金・利益相反	本研究に関連して企業等からの資金提供・利益相反はありません。
お問い合わせ先	長野市民病院 診療放射線科 電話：026-295-1199 担当：両角 拓哉